

取扱説明書

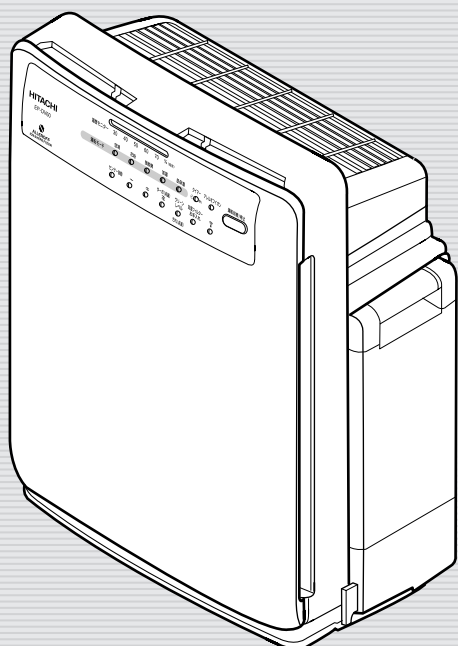
HITACHI
Inspire the Next

保証書付き
保証書は裏表紙に付いています。

日立 **加湿** 空気清浄機

型式

EP-DV60



このたびは日立空気清浄機をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

この空気清浄機は家庭用です。業務用や空気清浄以外の目的にはご使用にならないでください。

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。

お読みになったあとは、大切に保存してください。

「安全上のご注意」➡ P.4~6 をお読みいただき、正しくお使いください。

もくじ

ご使用前に

特長・各部のなまえ・操作ボタンと表示部・付属品・安全上のご注意	2
使用上のご注意	4
運転前の準備	7
・フィルターを本体にセットする	8
・リモコンに乾電池を入れる	8
・水タンクに水を入れる	9
設置のしかた	9
	10

使いかた

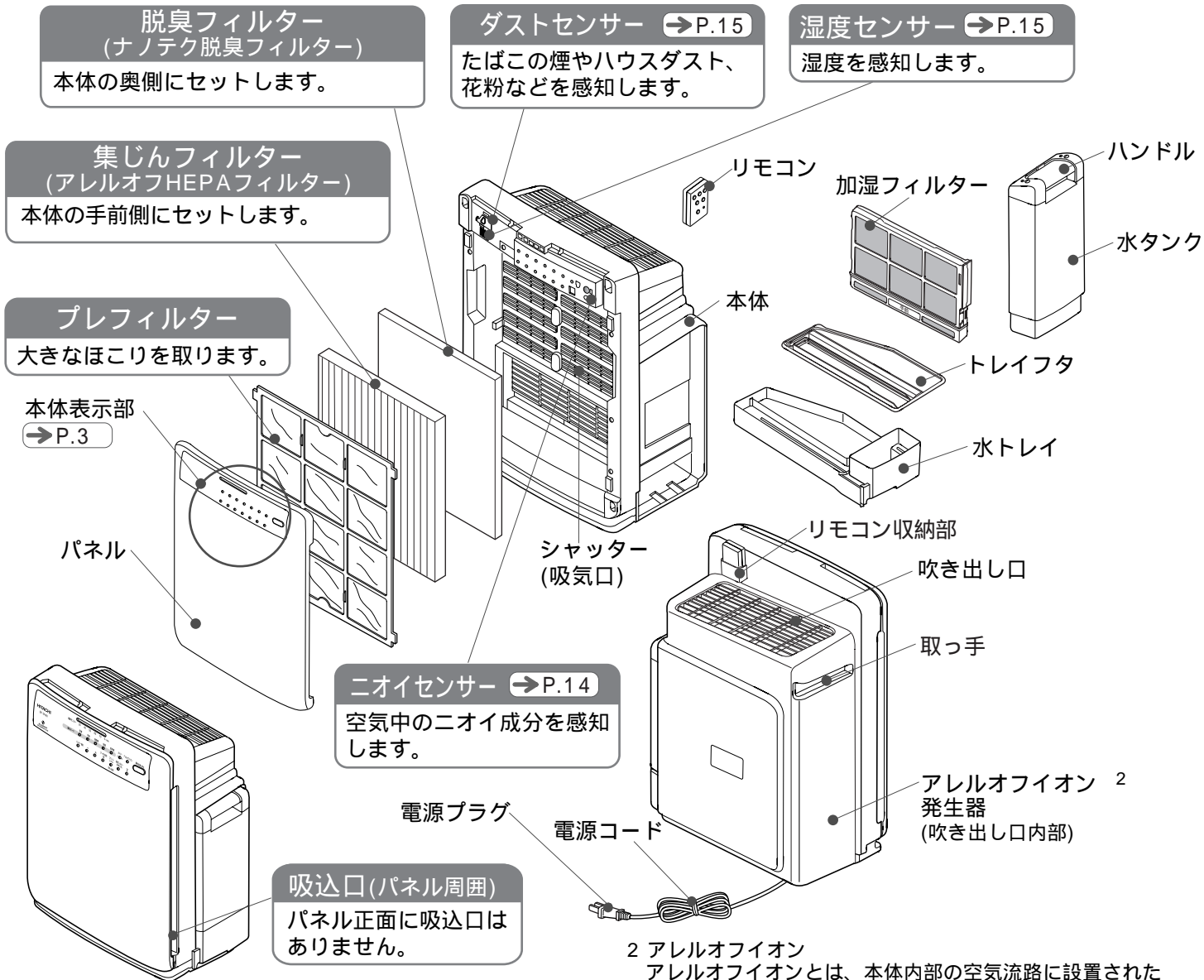
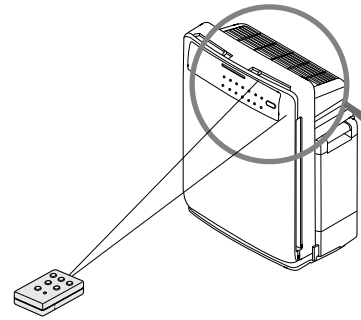
リモコン操作で運転する	10
・運転を始める	10
・運転モードで運転する	11
・風量をお好みで切り換えたいとき	12
・お部屋の空気を早くきれいにしたいとき	13
・アレロフイオンを設定する	13
・タイマーを使った運転	13
本体操作で運転する	14
メモリー機能・センサー・自動感知について	14
・メモリー機能	14
・クリーンレベル ・ニオイセンサー	14
・ダストセンサー ・湿度センサー	15
・自動感知	15
・センサー感度の切り換えかた	16
便利な使いかた	16
・ランプの明るさ切り換え	16

お手入れ・アフターサービス

お手入れのしかた	17
・加湿フィルターお手入れランプ点灯のとき	17
・水タンク ・加湿フィルター	18
・加湿フィルターの交換について	19
・水トレイ、トレイフタ	19
・プレフィルター	20
・本体 ・ダストセンサー	21
フィルターの交換について	22
・交換時期 ・フィルター取り扱い上のお願ひ	22
・フィルター交換のしかた	23
お知らせ表示について	24
故障かなと思ったら	24
アフターサービスと保証	26
別売り部品	28
仕様	29
保証書	32

特長・各部のなまえ・操作ボタンと表示部

1. アレルオフHEPAフィルターで花粉・ダニなどのアレル物質の活動を抑制。
2. パワフルな加湿でお部屋をうるおい空間へ。
3. 8畳なら約11分で清浄。適用床面積の目安～26畳(43m²)。
4. 生活シーンに合わせて選べる「5つの運転モード」。
5. 急なニオイに対応する「一発ターボ」運転。
6. 便利なリモコン付き。



1 シーキュラスは、中部電力(株)の登録商標で、火力発電所から発生する石炭灰を利用した環境にやさしい脱臭剤です。

2 アレルオフイオン
アレルオフイオンとは、本体内部の空気流路に設置された高密度カーボン繊維に高電圧を加えることで発生するマイナスイオンや活動物質などの総称です。

付属品

<p>フィルター 製品本体内に収納してあります。 運転前に必ずポリ袋から取り出してください。</p> <p>(集じんフィルター(1枚) 脱臭フィルター(1枚))</p>	<p>プレフィルター</p> <p>(1枚)</p>	<p>リモコン</p> <p>(1個)</p>	<p>リモコン用単4形乾電池 R03</p> <p>(2個)</p>	<p>加湿フィルター</p> <p>(1個)</p>
---	-----------------------------------	--------------------------------	---	-----------------------------------

・付属品

→P. このマークは(取扱説明書)の記載ページです。

本体操作ボタンと表示部

湿度モニター →P.15

運転中、お部屋の湿度を表示します。
あくまでも目安です。

湿度が低いとき ← 適湿のとき → 湿度が高いとき

橙 橙 緑 橙 橙

↓ ↓ ↓ ↓ ↓

30 40 50 60 70

運転モード →P.11

運転モードを表示します。

- 空清、花粉、強脱臭
表示ランプ：緑色
- 加湿、肌保湿
表示ランプ：橙色

運転切換/停止ボタン →P.14

運転/停止およびモードの切り換え時に操作します。

アレロオフィオン →P.13

アレロオフィオンを設定したときに点灯します。(表示ランプ：緑色)

風量 →P.11, 12

運転中の風量を表示します。(表示ランプ：緑色)

センサー自動：自動運転中の風量表示

リモコンの風量ボタンで、風量の切り換え時には、選択した風量を表示します。

- 〜：静の風量
- 〜：中の風量
- 〜：強またはターボ(点滅)の風量

クリーンレベル →P.14

ニオイセンサーが感知した空気の汚れ度合いをランプの光り方でお知らせします。(表示ランプ：緑色)

加湿フィルターお手入れ →P.17

加湿フィルターなどのお手入れ時期をお知らせします。(表示ランプ：赤色)

リモコン受光部

リモコン信号を受光します。

タイマー →P.13

4時間タイマーをセットしたときに点灯します。(表示ランプ：緑色)

特長・各部のなまえ・操作ボタンとはたらき・付属品

リモコン

リモコンは本体のリモコン受光部に向けて操作してください。
リモコンで操作できる距離は正面で約6m以内です。

運転/停止ボタン →P.10

運転/停止時に操作します。

アレロオフィオンボタン →P.13

アレロオフィオンの発生・停止時に操作します。

一発ターボボタン →P.13

一発ターボ運転時に操作します。

風量ボタン →P.12

風量の切り換え時に操作します。

モードボタン →P.11

運転モードの切り換え時に操作します。

タイマーボタン →P.13

切りタイマー設定時に操作します。

センサー感度ボタン →P.16

センサー感度の切り換え時に操作します。



お知らせ インバーター照明器具または電子瞬時点灯照明器具などを使用している部屋や受光部に直接日光があたる場所ではリモコンで動作しない場合があります。
正面以外の場所からリモコン操作した場合、リモコンの感度がにぶくなります。
なるべく正面からご使用ください。




安全上のご注意

ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みになり、正しくお使いください。お使いになる人や、ほかの人への危害、財産への損害を未然に防止するため、お守りいただくことを次のように説明しています。また、本文中の注意事項についてもよくお読みのうえ、正しくお使いください。

ここに示した注記事項は

表示内容を無視して誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷を負うことが想定される」内容です。
 注意	この表示の欄は、「軽傷を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される」内容です。

絵表示の例	
	「警告や注意を促す」内容のものです。
	してはいけない「禁止」内容のものです。
	必ず実行していただく「指示」内容のものです。

警告

火災・感電・けがを防ぐために

電源(コンセント・プラグ・コード)



お手入れや移動の際は電源プラグをコンセントから抜く

また、ぬれた手で抜き差ししない
感電やけがの原因になります。

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに先端の電源プラグを持って引き抜く
感電やショートして発火することがあります。

長期間ご使用にならないときは、電源プラグをコンセントから抜き、水トレイ、水タンクの水を排水する

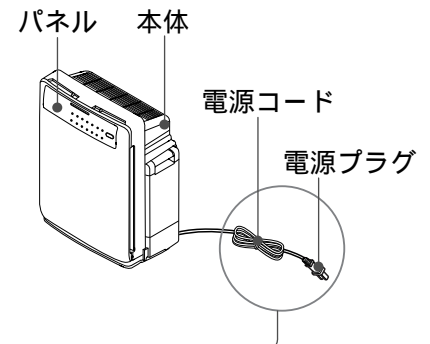
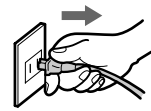
感電・火災や異臭の原因になります。

電源プラグは根元まで確実に差し込む
感電・ショート・発煙・発火の恐れがあります。

電源プラグのほこりなどは定期的に乾いた布でふき取る

火災の原因になります。

異常時(水漏れ、こげくさいにおいなど)は、運転を停止して電源プラグをコンセントから抜く
感電や漏電・ショートによる火災の恐れがあります。



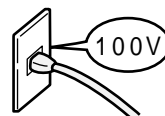
交流100V以外では使用しない
火災・感電の原因になります。

電源コードを傷つけない
(傷つけ・加工・無理な曲げ・引っ張り・
ねじり・重いものを載せる・挟み込む
などしない)

火災・感電の原因になります。

傷んだ電源コードや電源プラグ、ゆるんだコンセントは使用しない

感電・ショート・発火の原因になります。



警告

水タンク・水トレイ・加湿フィルター

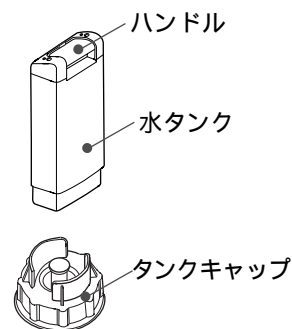


水タンクや水トレイ、加湿フィルターなどを外したまま運転しない
けがや故障の原因になります。

水タンクや水トレイなどのお手入れに洗剤(台所用、洗濯用など)を
使用しない
洗剤成分の影響により破損して水漏れしたり、感電やけが、故障の原因
になります。

水タンクのハンドルを持って持ち運びしない
落下して思わぬけがや事故の原因になります。

タンクキャップは分解しない
小さなお子様の誤飲などで思わぬ事故を招く恐れがあります。



ご使用の場所は



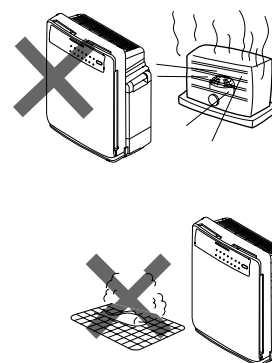
浴室など湿気の多い場所で使わない
感電および故障の原因になります。

暖房器具など熱いものに近づけない
故障や変形の原因になります。

機械油など油成分が浮遊している場所では使わない
ひび割れや火災の原因になります。

台所で換気扇のかわりに使わない
故障の原因になります。

有機溶剤や薬品を使用する場所で使わない
変色、変形や火災の原因になります。

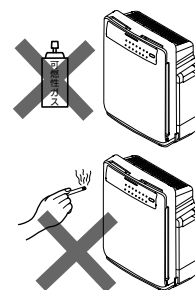


本体、パネル



ベンジン、シンナーでふいたり、殺虫剤などの可燃性ガスをかけない
ひび割れ・感電・引火・爆発の恐れがあります。

可燃性のものや火のついたたばこ・線香などは吸わせない
発火することがあります。

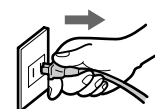


持ち運ぶときは必ず取っ手を持つ
破損や落下して思わぬけがの原因になります。

そのほか



動かなくなったり、煙が出ている、変なおいがするなどの異常がある
場合は、事故防止のためすぐに電源プラグを抜いて、お買い求めの販売
店に点検・修理を依頼する
感電や漏電・ショートによる火災の恐れがあります。



燃焼器具と併用して使用する場合は、換気する
一酸化炭素中毒をおこすことがあります。

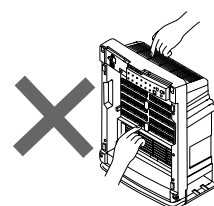
絶対に分解したり修理・改造しない
火災・感電・けがの原因になります。(修理は販売店などにご相談ください)



吹き出し口、吸気口などに指や異物などを差し込まない
けがや故障の原因になります。

水につけたり、水をかけたり、本体内に直接給水しない
ショート・感電の恐れがあります。

本体を傾けたり、倒したり、本体に寄りかかったり、上に乗ったりしない
転倒してけがをすることがあります。また水漏れの原因になります。



幼児の近くや不安定な場所で使用しない
転倒などでけがをすることがあります。

安全上のご注意(続き)

注意

そのほか



持ち運ぶときは本体の取っ手に確実に手を掛ける
破損や落下してけがをする恐れがあります。

パネル、水タンクなどを脱着するときは、ゆっくり確実に行う
水漏れや指を挟むなどけがをする恐れがあります。

乾電池は電池に記載されている注意文をよく読み正しく使う

水タンクの水は毎日新しい水道水と入れ換え、「お手入れのしかた」に従い定期的にお手入れする

清掃せずに使用を続けると、汚れや水あかによりカビや雑菌が繁殖し、悪臭がする場合があります。まれに体質によっては過敏に反応し健康によくないことがあります。この場合は医師に相談してください。

必ず水道水(飲用)を使う

部品の変形、変質、故障、カビや雑菌の繁殖による悪臭の原因になります。お湯(40 以上)や浄水器の水、アルカリイオン水、ミネラルウォーター、井戸水などは使用しないでください。また、有機溶剤、薬品などは水タンクに入れないでください。

水トレイ、水タンクの水は飲まない、飲ませない
健康を害する恐れがあります。

タンクキャップを閉めたまま、水タンクを本体から外して放置しない
周囲温度の変化からタンク内の圧力が変化し、変形や破損により水漏れやけがの恐れがあります。



室内くんじょうタイプ(発煙型)の殺虫剤を使用するときは運転しない
機械内部に薬剤成分が蓄積し、その後の運転で放出され、健康によくないことがあります。
殺虫剤の使用後は十分換気してから運転してください。

凍結させない

水タンクなどが破損して感電や故障の原因になります。凍結の恐れのあるときは、水タンクと水トレイの水を捨ててください。

水漏れしたときは使用しない

感電の原因になります。水漏れしているときは、電源プラグをコンセントから抜き、必ず修理を依頼してください。

水が入った状態では、本体を持ち運ばない

- ・水漏れやけがの原因になります。
- ・水タンクに水が入ったまま持ち運ぶと水トレイの水位が上昇し、運転時に水があふれ出る原因となります。
- ・持ち運ぶときは、水タンクや水トレイの水を抜いてから本体にセットして行ってください。

水タンクは給水中に倒したり、落としたりしない

けがやタンクの変形、破損の原因になります。手でしっかり押さえながら給水してください。

ランプの光を直視しない

目を傷めることがあります。



床面の傷や壁の汚れを防ぐために

お手入れのとき・ご使用の場所について



お手入れの際、本体および取り外した部品(パネル、水トレイ、水タンクなど)の下にやわらかい布を敷く
床面を傷つけることがあります。

本体から水トレイを引き出すときは、底部で床面を傷つける恐れがあります。

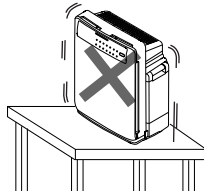


クロス張りの白い壁など、ふけない壁の近くでは使用しない
周囲の空気を巻き込み、吹き出し口付近の壁によごれが目立つ恐れがあります。

使用上のご注意

不安定な場所や傾斜した場所、障害物のそばに置かない

転倒・落下により破損や故障、水漏れなどの原因になります。また、床面と本体の間に湿気がたまると、床面にカビが発生する原因になります。本体を傾けて使用すると水漏れの原因になります。



吸込口や吹き出し口をふさがない

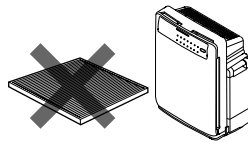
故障の原因になります。



畳や傷の付きやすい床・毛足の長いじゅうたんなどでは引きずらない 床面やじゅうたんの表面を傷付ける原因になります。

フィルターを外したまま運転しない

清浄効果ができません。また、故障の原因になります。

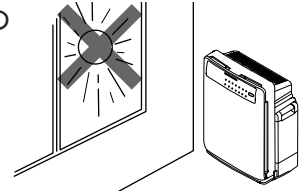


本体上面に物を置いたり、運転中は触らない

故障やけがの原因になります。

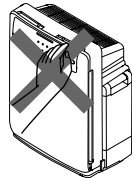
直接日光のあたる場所へ設置しない

変形、変色や誤動作の原因になります。



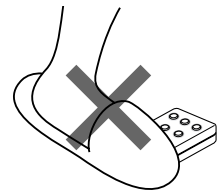
リモコンの受光部やニオイセンサー、ダストセンサー、湿度センサーをふさいだり、さわったりしない

- ・リモコン受光部が汚れたり傷ついたりして感度が悪くなります。
- ・センサー類の感度が悪くなります。



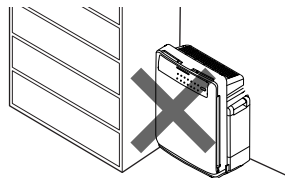
リモコンに無理な衝撃を加えない

リモコンを落としたり、踏んだりしないでください。また、リモコンの上に物をのせないでください。故障の原因になります。



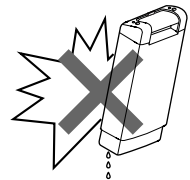
本体から吹き出した風が、家具や他の電化製品、壁、天井などに直接あたる場所には設置しない

湿気により、家具などにしみや変形が生じたり、故障などの原因になります。



水タンクに衝撃を加えない

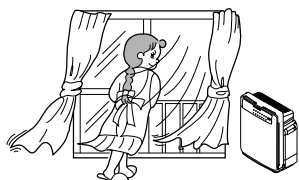
タンクの水が漏れて床などをぬらす原因になります。また、タンクキャップについた水滴が落ちて床などをぬらす原因になります。



密閉した部屋では、時々換気する

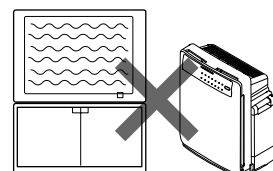
換気作用(一酸化炭素などの除去効果)はありません。

- * タバコの有害物質(一酸化炭素等)は除去できません。



テレビやラジオなどの近くでは使わない

ノイズが入る場合があります。2m以上離して設置してください。



運転前の準備

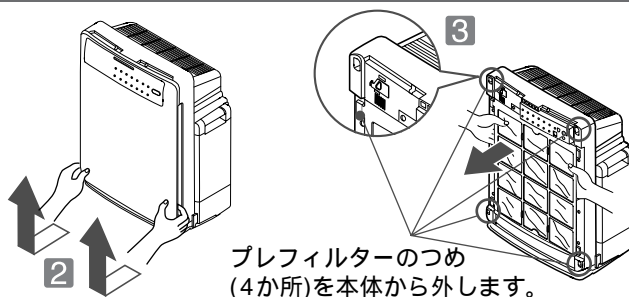


注意 床面の傷つき防止のため、本体の下にやわらかい布などを敷いて床面を保護してください。ポリ袋に入れたままフィルターをセットしても、清浄効果は得られません。また故障の原因になります。本体を倒したり、傾けたりしないでください。

フィルターを本体にセットする (フィルター交換の手順も同じです)

1 パネルを取り外す

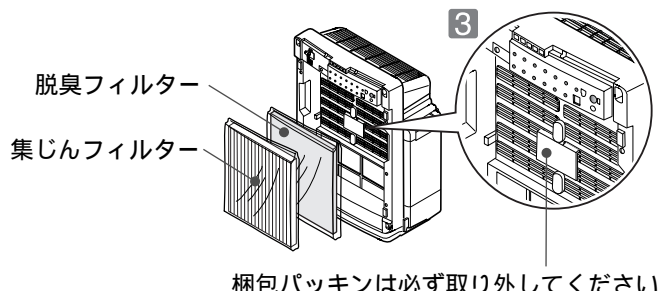
- 1 本体を水平で安定した場所に置きます。
- 2 パネルの下側(2か所)に指をかけて、ゆっくり手前に引き、上側へ少しずらして取り外します。
- 3 プレフィルター取り外します。



プレフィルターのつめ (4か所)を本体から外します。

2 フィルターを取り外す (集じん用と脱臭用があります)

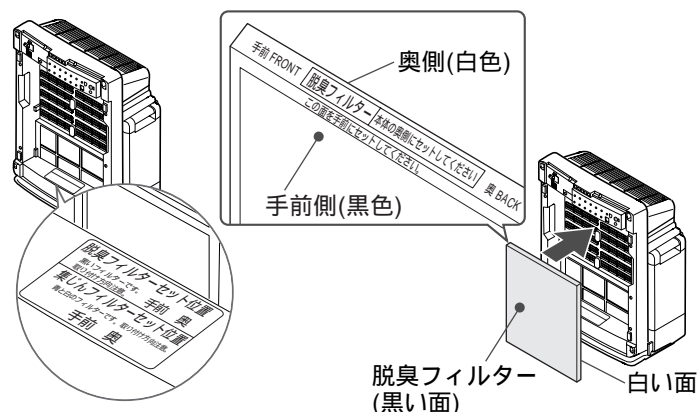
- 1 本体内からポリ袋に入っているフィルターを取り外します。
- 2 フィルターをポリ袋から取り出します。
- 3 梱包パッキンを取り外します。



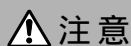
梱包パッキンは必ず取り外してください。

3 脱臭フィルターを本体に取り付ける

脱臭フィルターの黒い面が手前(白い面が奥側)になるようにセットしてください。ラベル(脱臭フィルターセット位置)がかけられるように、奥までセットしてください。



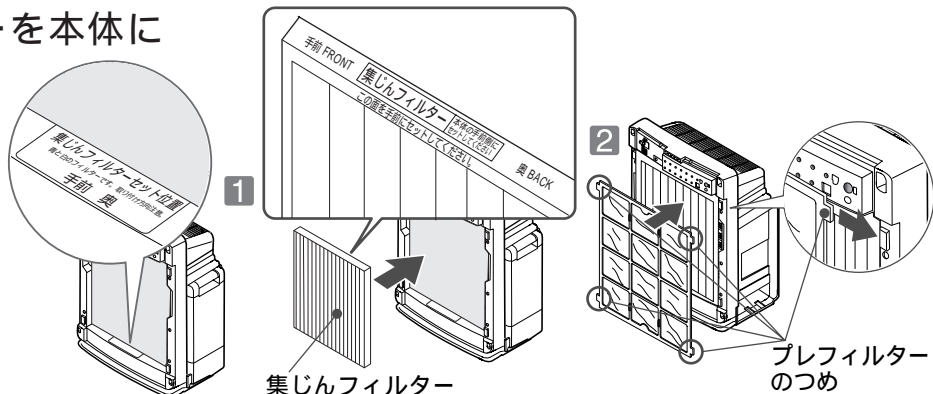
脱臭フィルター (白い面)



注意 脱臭フィルターは必ずポリ袋から取り出してください。フィルター前面は、布や紙などでふさがらないでください。集じんフィルターも同様です。

4 集じんフィルターを本体に取り付ける

- 1 ラベル(集じんフィルターセット位置)がかけられるように、セットしてください。
- 2 プレフィルターを本体に取り付けます。

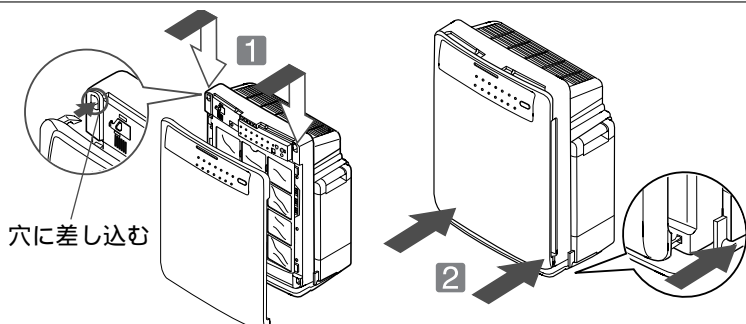


集じんフィルター

プレフィルターのつめ

5 パネルを本体に取り付ける

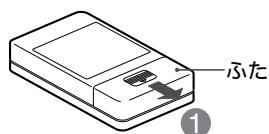
- 1 パネルの上側のつめ(2か所)を本体の差し込み穴に差し込みます。
- 2 パネル下部を静かに押して、カチッと音がするまで確実に閉じます。



穴に差し込む

リモコンに乾電池を入れる

1 ふたを外す



2 乾電池を入れて、ふたをしめる

付属の乾電池(単4形乾電池2個)のプラス(+) マイナス(-)を、表示どおり入れます。

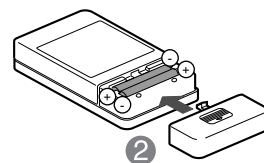
乾電池は、工場出荷時に同梱のため、自己放電により寿命が短くなっている場合があります。

乾電池は、消耗品です。

乾電池を交換するときは、2本同時に交換してください。

乾電池はマンガン電池、またはアルカリ電池をご使用ください。

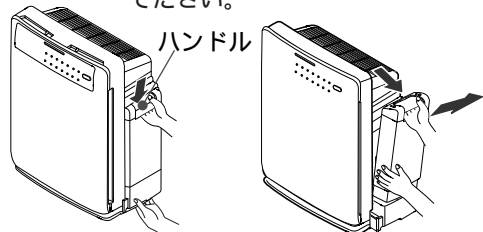
マンガン電池とアルカリ電池の併用はしないでください。



水タンクに水を入れる(「加湿」「肌保湿」モードで運転するとき)

1 水タンクを静かに取り外す

2 水タンクのハンドルの上部を押しなが、斜め上方に持ち上げて、水タンクの下側を支えて取り外してください。



1 水トレイを手で押さえてください。

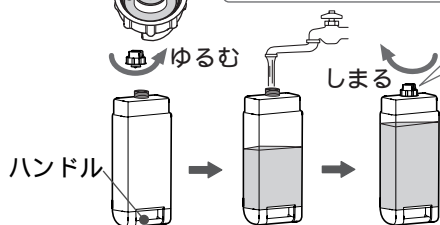
2 タンクキャップを外して、きれいな常温の水道水を入れる

ゴムパッキン

タンクキャップに必ずゴムパッキンが装着されていることを確認してください。



タンクキャップ中央のピンを押し込まないでください。水漏れの原因になります。



タンクキャップ中央のピンを押したときに、バネで戻ることを確認してください。

タンクキャップを確実に閉め、こぼれた水をふき取り、水漏れがないことを確認してください。

水タンクのハンドルに水がたまっている場合は、ふき取ってください。

タンクキャップは消耗品です。→ P.28

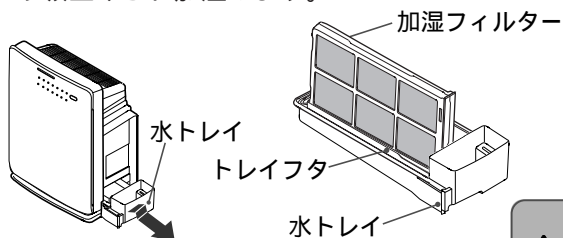
(ゴムパッキンの劣化などにより水が漏れる場合は、別売り部品を購入のうえ、交換してください。)

注意

水タンクを持ち運ぶときは、水タンクのハンドルを持たずにタンクキャップを上にして必ず両手で持ち運んでください。水タンクが濡れている場合は、水滴をふき取ってから持ち運んでください。

3 水トレイを引き出して、加湿フィルターとトレイフタが取り付けられていることを確認して、もとに戻してください

水タンクから供給された水が加湿フィルターにより吸上げられ加湿します。

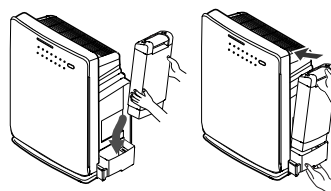


水トレイを外すときは、引き出すときに少し斜め上方に持ち上げながら静かに引き出してください。

4 本体の水タンク収納部に水タンクをセットする

水を入れた水タンクは、必ず両手で取り扱ってください。カチッと音がするまで確実に押し込んでください。

取り付けが不十分な場合、水タンクが転倒したり、水漏れする恐れがあります。



注意

水タンクを取り外すときは、タンクキャップに付着した水がたれる恐れがありますので、乾いた布を敷いてから水タンクを外してください。

注意

水トレイを外した状態で、水タンクを載せないでください。水タンクが転倒する恐れがあります。本体から水トレイを引き出すときは、底面部分で床面を傷つける恐れがあります。タンクキャップを閉めたまま、水タンクを本体から外して放置しないでください。周囲温度の変化からタンク内の圧力が変化し、変形や破損により水漏れやけがの恐れがあります。

お知らせ

この製品は、水タンクや水トレイに水が入っていると加湿機能が働きます。加湿を必要としない場合は、水タンクや水トレイに水を入れないで運転してください。

設置のしかた

水平で安定した強度のある場所に設置してください。

冷暖房器具などの近くは避けて、空気の循環のよい場所を選びます。

左右の壁から90cm以上離してお使いください。排気風が周囲の空気を巻き込み、壁が汚れることがあります。



警告

不安定な床や台の上などには置かないでください。
転倒・落下により破損や故障、水漏れなどの原因になります。
本体を傾けて使用すると水漏れの原因になります。

リモコン操作で運転する

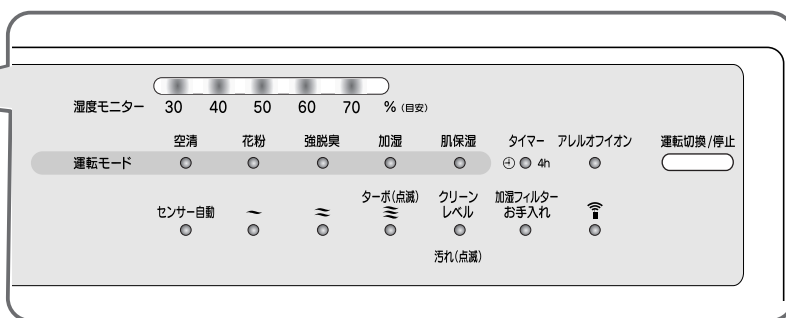
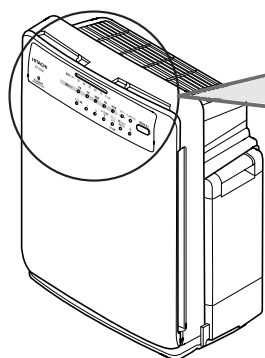
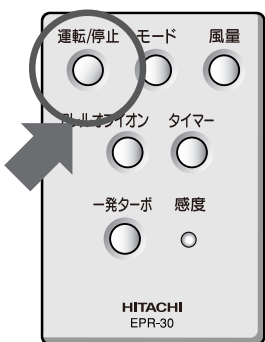
リモコンでの操作方法を説明しています。本体での操作は **→ P.14** をご覧ください。

運転を始める

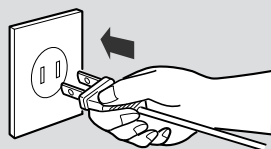
リモコン

本体

本体表示部

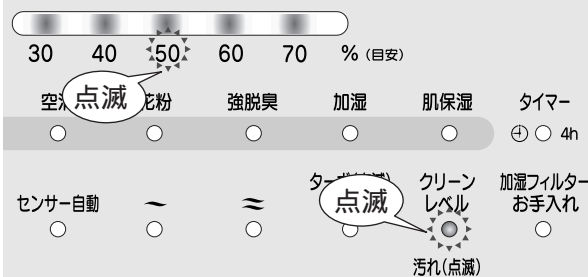


1 電源プラグをコンセントに確実に差し込む



最初の3分間はお部屋の空気の状態を調べて記憶します。その間「クリーンレベル」と「湿度モニター 50」が点滅します。

3分以内に運転を始めることができますが、このときも「クリーンレベル」と「湿度モニター 50」が点滅を続け、3分間を経過すると点滅が終了し、空気の汚れ度合と湿度を表示します。



2 運転/停止 ボタンを押す

運転が始まり、表示が点灯します。

運転/停止

運転中に **運転/停止** ボタンを押すと、運転が停止します。

運転モードの「空清」ランプが点灯(緑色)します。



お知らせ

電源プラグ投入後、「運転/停止」ボタンを押さない場合は、「クリーンレベル」と「湿度モニター 50」が3分間の点滅終了後に表示が全て消灯します。

(この状態でも、リモコン操作は受け付けます)

工場出荷時は、「空清」に設定されています。

2回目からはメモリー機能により、メモリーされた状態で運転を始めます。 → P.14

待機時の消費電力について

運転を停止していても、電源プラグがコンセントに差し込まれていると、約3Wの電力を消費します。(長期間ご使用にならない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。)

運転モードで運転する(基本的な使いかた)

5つの運転モードを選ぶことができます。お好みにより使い分けてください。

すべての運転モードにおいて、運転中はファンは止まりません。

すべての運転モードにおいて、空気清浄機能が働いています。


運転モードを切り換えると風量は「センサー自動」風量になります。

運転モードの運転パターンと選びかた

運転モード	運転パターンと選びかた
空清 (緑色点灯)	通常のご使用に合った運転モードです。 ・ニオイセンサーとダストセンサーで空気の汚れ度合いを感知して自動で風量の切り換えを行います。 ・センサー自動運転中は、静～強の風量で運転します。
花粉 (緑色点灯)	花粉が気になるときなどにおすすめします。 ・ニオイセンサーとダストセンサーで空気の汚れ度合いを感知して、自動で運転します。 ・センサー自動運転中は、静～中の風量で運転します。
強脱臭 (緑色点灯)	お部屋のニオイが気になるときなどにおすすめします。 ・ニオイセンサーとダストセンサーで空気の汚れ度合いを感知して 空清 よりも強い風量の運転に切り換わります。 ・センサー自動運転中は、弱～ターボの風量で運転します。 ・最初の1分間は汚れ度合にかかわらず、ターボの風量で運転します。
加湿 (橙色点灯)	お部屋の湿度を約50%にコントロールします。 ・センサー自動運転中は、静～強の風量で運転します。
肌保湿 (橙色点灯)	お部屋の湿度を高め約60%にコントロールします。 ・センサー自動運転中は、静～強の風量で運転します。

お知らせ

運転中の振動で水タンクの水面がゆれることがあります。



モード
ボタンを押す

ボタンを押すごとに、
運転モードが切り換わります。

選択した運転モードの表示ランプが点灯します。

点灯	空清	花粉	強脱臭	加湿	肌保湿
運転モード	☀️	○	○	○	○
	センサー自動	～	≡	ターボ(点滅)	クリーンレベル
	○	○	○	○	○

ボタンを押すごとにモードが切り換わります。
空清 → 花粉 → 強脱臭 → 加湿 → 肌保湿

リモコン操作で運転する(続き)

風量について

運転モードにより下記の風量で運転します。風量表示ランプは「センサー自動」が点灯します。

モード	風量範囲
空清	静 ↔ 弱 ↔ 中 ↔ 強
花粉	静 ↔ 弱 ↔ 中
強脱臭	弱 ↔ 中 ↔ 強 ↔ ターボ
加湿	湿度モニターの表示が60%以上のとき 静 ↔ 弱 ↔ 中 ↔ 強
肌保湿	湿度モニターの表示が70%以上のとき 静 ↔ 弱 ↔ 中 ↔ 強


ニオイセンサー、ダストセンサー、湿度センサーで検出した空気の汚れ度合と湿度により自動でそのときに適した風量に切り換えて運転します。

お知らせ

「空清」、「花粉」、「強脱臭」モードで運転する場合も、水タンクや水トレイに水が入っているときは加湿しますので、加湿をしたくない場合は、水タンクや水トレイの水を排出し、加湿フィルターの水切りをしてください。

風量をお好みに切り換えたいとき

4段階の風量をお好みに選ぶことができます。



風量

ボタンを押す

ボタンを押すごとに、風量が切り換わります。

風量の表示ランプが点灯します。

空清	花粉	強脱臭	加湿	肌保湿
○	○	○	○	○
○	● (点灯)	○	○	○
○	○	○	○	○

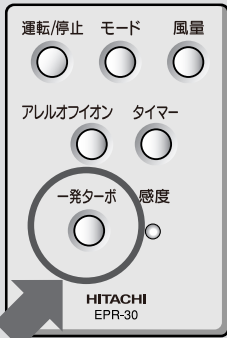
ボタンを押すごとに風量が切り換わります。

センサー自動 → ~ → ~ → ~ → ~

「静」 「中」 「強」 (点滅) 「ターボ」

お部屋の空気を早くきれいになりたいとき(空清モード)

大勢でたばこを吸ったり、汚れを早く取り除きたいときに便利です。





一発ターボ

ボタンを押す

約5分間「ターボ」の風量で運転します。



運転終了後、「一発ターボ」運転前の状態に戻ります。

風量表示ランプ  が5分間点滅します。


センサー自動	~	ターボ(点滅)	クリーンレベル
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>

解除のしかた

運転/停止 一発ターボ

運転中に  または  ボタンを押します。

アレロフイオンを設定する




アレロフイオン

ボタンを押す


アレロフイオンが発生します。


アレロフイオン表示ランプが点灯します。

強脱臭	加湿	肌保湿	タイマー	アレロフイオン
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/> 4h	
~	ターボ(点滅)	クリーンレベル	加湿フィルターお手入れ	<input type="radio"/>
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>


設定 / 解除のしかた

アレロフイオン

 ボタンを押すごとに、設定 / 解除が切り換わります。

工場出荷時はアレロフイオンが設定されています。
アレロフイオンについては  P.2 をご覧ください。

タイマーを使った運転



タイマー

ボタンを押す

切りタイマー(4時間)が設定されます。


設定してから約4時間が経過すると、運転を停止します。

タイマー表示マークが点灯します。

加湿	肌保湿	タイマー	アレロフイオン
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/> 4h	<input type="radio"/>
ターボ(点滅)	クリーンレベル	加湿フィルターお手入れ	<input type="radio"/>
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

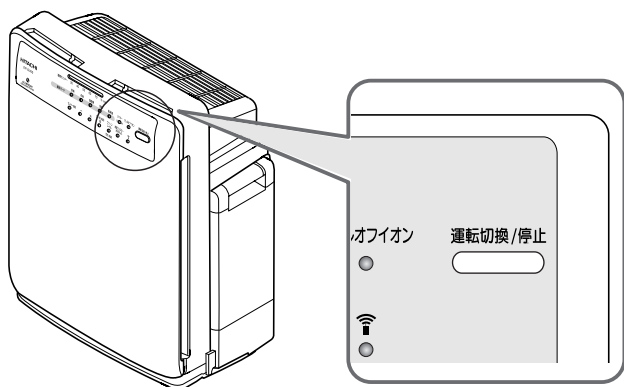
設定 / 解除のしかた

タイマー

 ボタンを押すごとに、設定 / 解除が切り換わります。

リモコン操作で運転する

本体操作で運転する




運転切換/停止

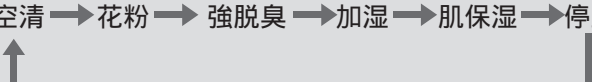
ボタンを押す

運転が始まります。

運転切換/停止

停止する場合は、 ボタンを押すごとに下記の順序で切り換わり、運転モードの切り換えと停止ができます。

空清 → 花粉 → 強脱臭 → 加湿 → 肌保湿 → 停止



運転モードを切り換えると風量は「センサー自動」風量になります。

メモリー機能・センサー・自動感知について

メモリー機能

運転を停止させた後、再び運転したとき、停止する前の運転状態で運転します。

- ・約5秒以上の運転でメモリーされます。(約5秒以内に停止した場合はメモリーされません。)
- ・電源プラグを抜いてもメモリーされています。

クリーンレベル

ニオイセンサー、ダストセンサーが感知した空気の汚れ度合をランプの光り方でお知らせします。

ランプの光り方：緑色(点灯) ←……………→ 緑色(点滅)

汚れ度合 : きれい ←……………→ 汚れ

お知らせ

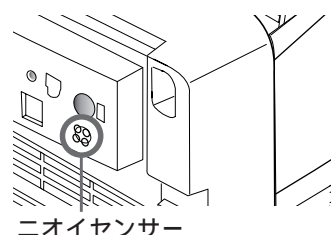
ニオイセンサー、ダストセンサーの感度をお好みで切り換えることができます。 → P.16
 汚れを感知しにくい場所に設置していたり、センサー部が汚れている場合は表示が変わらない場合があります。 → P.24



ニオイセンサー

たばこの煙やペットのにおいなど、空気中のにおいを感知するセンサーです。空気がきれいと感じる状態になってもフィルターで浄化されないガス成分などを感知した場合、運転を継続することがあります。次のような場合にも感知することがあります。

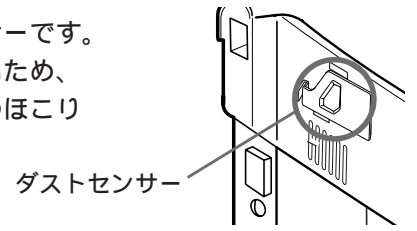
- ・ 燃焼器具の運転時の燃焼ガス、アルコール、美容室やエステティックサロンなどでお使いの香水や化粧品のにおい、スプレー類、水蒸気、急激な温度変化など。



メモリー機能・センサー・自動感知について(続き)

ダストセンサー

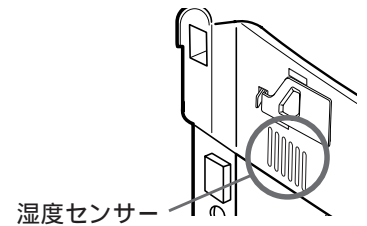
たばこの煙やハウスダスト、花粉など、空気中の粉じん量を感知するセンサーです。ふとんの上げ下ろし時の粉じん量は、たばこの煙などと比べて大幅に少ないため、ダストセンサーで感知できない場合があります。このような場合、見た目のほこりと空気汚れモニターの表示に差がでることがあります。3~6ヶ月に1回定期的にお手入れをしてください。定期的にお手入れをしないとダストセンサーが空気の汚れを感知しにくくなります。 → P.21



湿度センサー

運転中、お部屋の湿度を感知するセンサーです。湿度モニターはあくまでも目安です。

- ・湿度計の表示と差が出る場合があります。
- ・湿度は温度の変化に応じて値が変わります。
- ・空気の流れが良いところと悪いところでは、湿度が異なる場合があります。



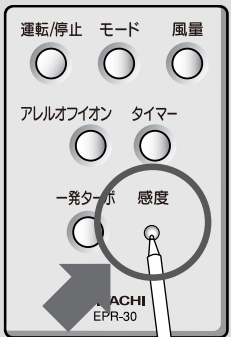
自動感知

空気清浄機は「ニオイセンサー」と「ダストセンサー」でお部屋の空気の汚れ度合を、「湿度センサー」でお部屋の湿度を感知して自動で運転を行ないます。電源プラグをコンセントに差し込んでから3分間にお部屋の空気の状態を調べて記憶します。この間、「クリーンレベル」と「湿度モニター 50」のランプが点滅し、3分間経過すると「クリーンレベル」と「湿度モニター 50」ランプが消灯し、準備完了です。電源プラグをコンセントに差し込んでから、3分以内に運転を始めることもできます。このときも空気清浄機は空気の状態を調べていますので「クリーンレベル」と「湿度モニター 50」ランプが点滅を続け、3分間を経過すると点滅が終了します。空気が汚れた状態で電源プラグをコンセントに差し込んだ場合、センサーの感度がにぶくなる場合があります。その時は、強またはターボで運転してください。または、窓を開けるなどして周囲の空気がきれいな状態のときに電源プラグをコンセントに差し込んでください。それでも変わらないときは、感度設定を変えてください。

メモリー機能・センサー・自動感知について(続き)

センサー感度の切り換えかた

運転モードのセンサー感度を3段階に調節することができます。



各運転モードで運転中

感度

● ボタンを押す
(ボールペンの先などで押してください。)


風量表示ランプが5秒間点滅します。

風量表示ランプが点滅している間に

感度

● ボタンを押す

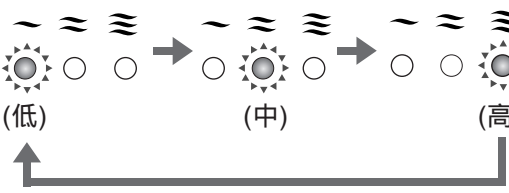
現在設定されている感度を風量表示ランプが5秒間点滅して、お知らせします。



センサー自動 ターボ(点滅) クリーンレベル

● (点滅)

ボタンを押すごとに感度が切り換わります。



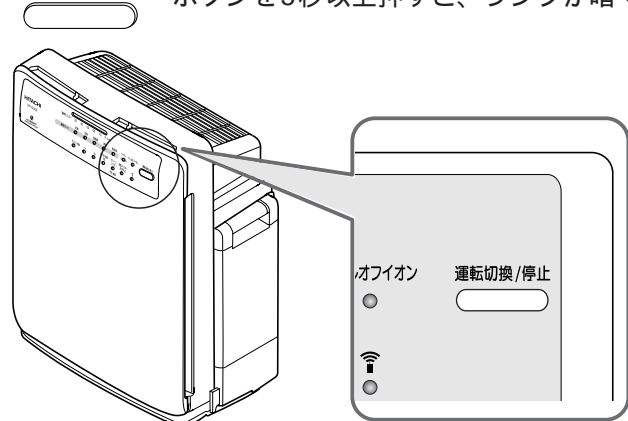
(低) (中) (高)

工場出荷時は、感度「中」に設定されています。

便利な使いかた

ランプの明るさ切り換え

おやすみのときなど、ランプの明かりが気になる場合、電源プラグをコンセントに差し込んだ状態で、本体の



運転切換/停止

● ボタンを5秒以上押す

▼

ランプが暗くなります。

設定 / 解除のしかた

運転切換/停止

● ボタンを5秒以上押すごとに、設定 / 解除が切り換わります。

設定した内容はメモリーされます。

お手入れのしかた

お手入れの際には、必ず運転を停止して、電源プラグをコンセントから抜いてください。

警告

本体各部に水をかけないでください。故障の原因になります。
ガソリン、シンナー、ベンジン、ワックス、灯油、アルコールなどの揮発性の溶剤類、みがき粉、洗剤(台所用、洗濯用など)などは使わないでください。
変形、変色、破損、印刷文字のはがれの原因になります。
本体を倒したり、傾けたりしないでください。

注意

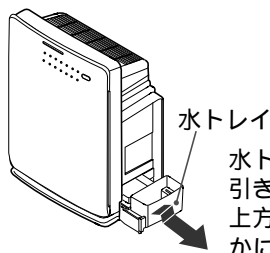
化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。
ドライヤー、暖房器具などで乾燥させないでください。変形、変色、破損、印刷文字のはがれなどの原因になります。
床面の傷つき防止のため、本体の下にやわらかい布などを敷いて、床面を保護してください。

加湿フィルターお手入れランプが点灯したら、加湿フィルター、水トレイ、トレイフタをお手入れしてください。加湿フィルターお手入れランプは、ご使用開始、または前回のお手入れ後にリセットボタンを押してから、約1ヶ月(約720時間の通電)後に点灯します。使用する水道水によっては、水あかが早く付着する場合があります。加湿フィルターお手入れランプが点灯しなくても1ヶ月に1回以上また、汚れがひどいときは、こまめにお手入れしてください。

お手入れ後、リセットボタンを押してください。加湿フィルターお手入れランプが消灯します。

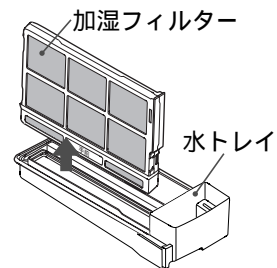
加湿フィルターお手入れランプ点灯のとき

1 水タンクを外してから、水トレイを取り外す → P.9



水トレイを
水トレイを外すときは、引き出すときに少し斜め上方に持ち上げながら静かに引き出してください。

2 水トレイから加湿フィルターを取り外す



注意

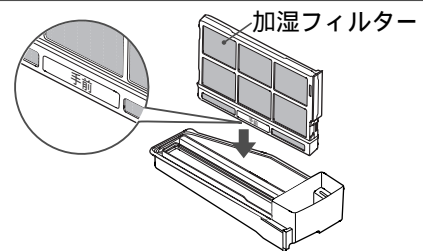
本体から水トレイを引き出すときは、水がこぼれたり、底面部で床面を傷つける恐れがありますので、本体の下にやわらかい布などを敷いて、床面を保護してください。

3 加湿フィルター、水トレイ、トレイフタを掃除する → P.18, 19

本体を揺らしたりした場合に、水トレイの加湿フィルターを取り付ける場所以外に水が溜まる場合があります。
また、水トレイを引き出した際には、必ずトレイフタを外して、水をふき取るか、掃除をしてください。

4 加湿フィルターをセットする

トレイフタに加湿フィルターを静かに差し込みます。加湿フィルターは確実に水トレイの底にあたるまで差し込んでください。取り付けが不十分だと、運転中に水が漏れる原因になります。

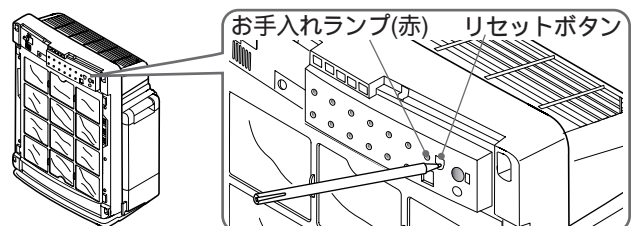


5 水トレイを取り付け、水タンクを取り付ける

6 パネルを取り外す → P.8

7 電源プラグをコンセントに差し込み、本体のパネル裏側にあるリセットボタンを押す

本体パネル裏側にあるリセットボタンを押します。
(ボールペンの先などで押してください)
お手入れランプが消えたことを確認してください。

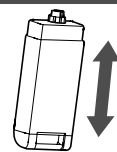


8 パネルを本体に取り付ける → P.8

お手入れのしかた(続き)

水タンク(お手入れの目安: 毎日)

1日1回は必ず新しい水道水に交換してください。
タンクに水が残っている場合は排水します。
水道水を少量入れ、タンクキャップをしっかりと閉めて、振り洗いをします。
(水を入れ換えて2~3回)



警告 洗剤(台所用、洗濯用など)は使用しないでください。

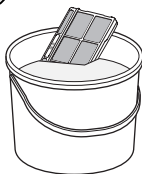
注意 タンクキャップ中央のピンを押し込まないでください。水漏れの原因になります。
水タンクを本体から取り外す前に、必ず運転を停止させてください。
水トレイを外した状態で水タンクを載せないでください。水タンクが転倒する恐れがあります。
水タンクを外す際、タンクキャップに付着した水がたれることがあります。

加湿フィルター(お手入れの目安: 約1ヶ月に1回)

本製品の加湿方式は加湿フィルターに風を当てて、湿った空気を出す気化式を採用しております。
加湿フィルターはお使いの使用環境により、加湿・肌保湿運転をしなくても汚れやおいが付着する場合があります。
加湿・肌保湿運転時は、水タンクに入れる水は必ず水道水をご使用ください。
加湿フィルターには抗菌・防カビの処理を施しておりますが、お使いの水道水の水質や使用環境により、短期間のご使用でもヌメリや、ピンク色・赤色・緑色・茶色・黒色・灰色などに変色したり、カビが付着する場合があります。(変色しても加湿性能には影響はございません)
「加湿フィルターお手入れ」ランプの表示にかかわらず、こまめにお手入れしていただくことをおすすめします。
お手入れしても、次のようになった場合は早めの交換をおすすめします。
・汚れがひどい、水あかなどが固くこびりついて取れない、においがひどい、傷んだり型崩れがひどいなど。
加湿・肌保湿運転をご使用しない際には「水トレイ」、「水タンク」に残った水を捨ててください。
汚れや変色の原因になります。

ケースから外さないでください。

1 水、ぬるま湯または台所用中性洗剤を溶かした水に、30分以上つけおき洗いをする



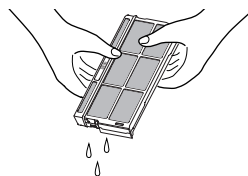
加湿フィルターはケースから外さないでください。
台所用中性洗剤に記載の使用法、注意書きに従ってご使用ください。
(台所用中性洗剤以外は使用しないでください)

2 新しい水に入れ換え、加湿フィルターをゆすりながら、すすぎ洗いをする
(2~3回繰り返す)



台所用中性洗剤をご使用の場合は、洗剤成分が残らないように、すすぎ洗いをしてください。

3 軽く振って水を切る
(水がしたたり落ちない程度)



使用を続けると水トレイ内部や、加湿フィルター表面に白または茶色の水あかが付着します。水あかは水道水に含まれるミネラル分が気化せず残ったものです。お手入れせずに使い続けると固まって取れにくくなり、加湿量の低下につながります。

使用する水道水の水質によっては、早く水あかが付着する場合があります。

このような場合は早めにお手入れしてください。

加湿フィルターはケースを外さないで、ケースごとすすぎ洗いをしてください。

(外すと変形や損傷の原因になります。)

加湿フィルターは、ブラシなどでこすったり、強く押しつけて変形させないでください。

(損傷し、性能低下の原因になります。)

新品の加湿フィルターは、使いはじめにニオイがすることがありますが異常ではありません。

傷んだ場合は、早めに交換してください。

注意 クエン酸で加湿フィルターを洗浄すると、抗菌・防カビの性能が低下します。
加湿フィルターが水を多く含んだ状態で本体に組み込まないでください。水漏れの原因になります。

加湿フィルターの交換について

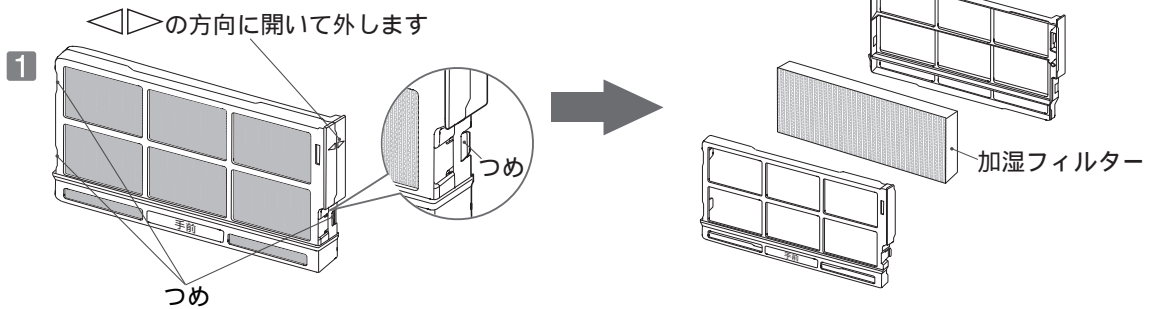
加湿フィルターは消耗品です。36ヶ月(約1ヶ月に1回、お手入れが必要です)のご使用を目安に交換してください。お手入れしても、次のようになった場合は早めの交換をおすすめします。

汚れがひどい、水あかなどが固くこびりついて取れない、においがひどい、傷んだり型くずれがひどいなど。お使いの水道水の水質によっては、加湿フィルターの消耗が著しく早い場合があります。

加湿フィルターをケースから外して、交換してください。

加湿フィルターのケースは捨てないでください。

- 1** つめ(3か所)を押し、ケースを外します。



交換用加湿フィルター

型式：EPF-DV60KF 希望小売価格 2,100円 (税抜 2,000円)

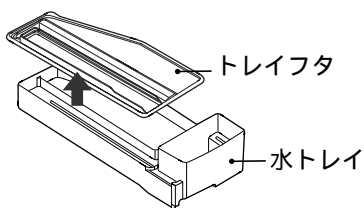
加湿フィルターは可燃性です。廃棄する際は、各自治体の指定に従い、廃棄してください。

水トレイ、トレイフタ(お手入れの目安：約1ヶ月に1回)

洗剤は使用しないでください。

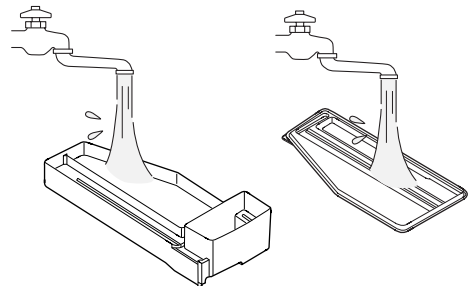
- 1** トレイフタを外す

水トレイからトレイフタを外します。



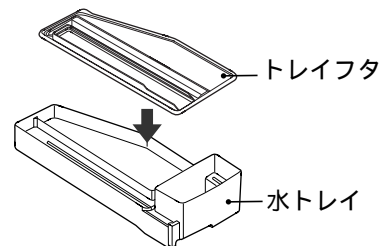
- 2** 水洗いをして汚れを落とす

水トレイに残った水は捨ててください。細部は綿棒や歯ブラシなどを使って汚れを落とします。



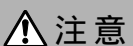
- 3** 水分をふき取って組み立てる

水トレイにトレイフタを取り付けます。



警告

洗剤(台所用、洗濯用など)は使用しないでください。



注意

水トレイには、水をためずに本体へセットしてください。水がこぼれる原因になります。

お手入れのしかた(続き)

プレフィルター(お手入れの目安: 約1ヶ月に1回)

プレフィルターは、下記の要領でお手入れしてください。

- 1 水タンクを外してから、水トレイを取り外す → P.9
(水漏れを防止するためです。)



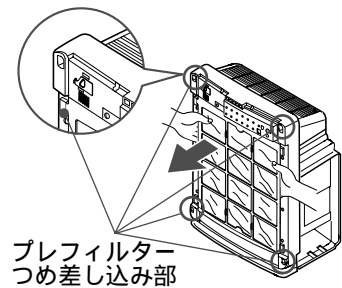
注意

タンクを取り外すときは、タンクキャップに溜まった水がたれる恐れがありますので、乾いた布を敷いてから水タンクを外してください。

- 2 パネルを取り外す → P.8

- 3 プレフィルターを取り外す

プレフィルターのつめ(4か所)を本体から取り外してください。

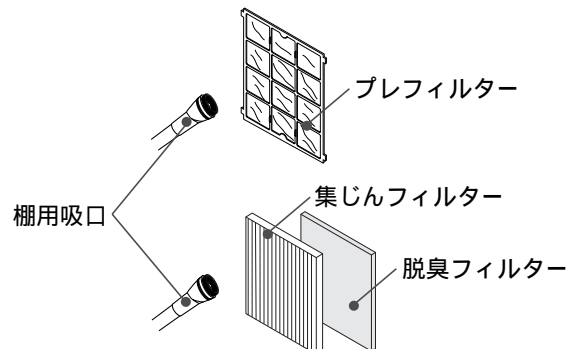


- 4 掃除をする

掃除機などでほこりを取り除き、汚れがひどい場合は水洗いしてください。水洗いのあとは、十分に水を切って、日のあたらぬ風通しのよい場所で乾燥させてください。

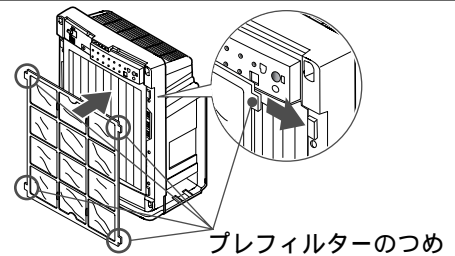
水洗いの際は、毛先のやわらかい歯ブラシなどで洗ってください。

集じん・脱臭フィルターのほこりが気になる場合は、掃除機などで取り除いてください。集じん・脱臭フィルターは水洗いできません。



- 5 プレフィルターを取り付ける

本体の差し込み穴にプレフィルターのつめ(4か所)を確実に差し込み固定します。



- 6 パネルを本体に取り付ける → P.8

- 7 水トレイを取り付けてから、水タンクを取り付ける → P.9

プレフィルターは消耗品です。

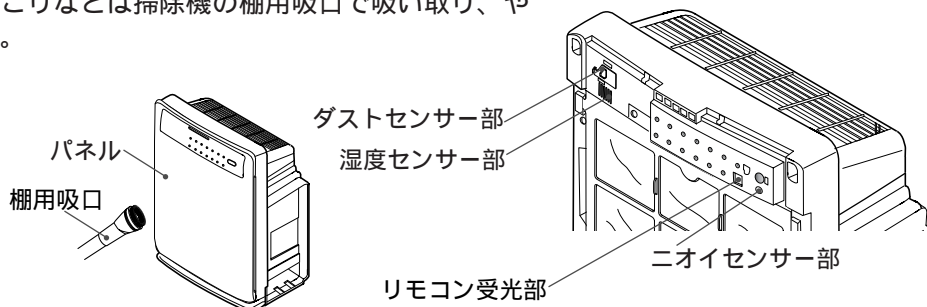
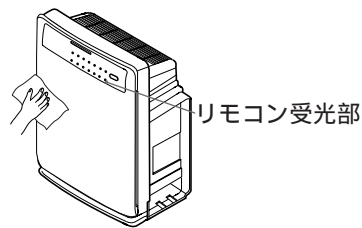
破損などでプレフィルターの交換が必要な場合は、サービスパーツ(部品番号 EP-DV1000-002)をお求めください。

本体(お手入れの目安：約1ヶ月に1回)

本体やパネル表面の汚れは、水を含ませたやわらかい布をよく絞ってからふいてください。汚れがひどい場合は、中性洗剤を水でうすめてやわらかい布に含ませてふいてください。汚れを落としたあと、洗剤が残らないように十分ふき取ってください。

リモコン受光部の汚れは、細めの綿棒に少し水を含ませてふき、その後乾いた綿棒でふいてください。

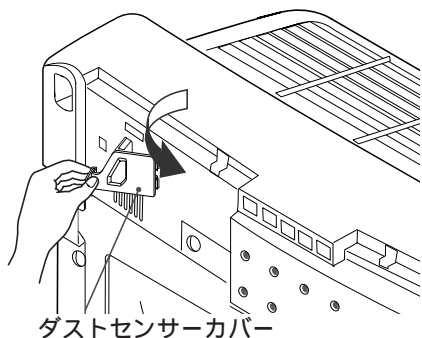
パネルの表面、吸込口およびニオイセンサー部やダストセンサー部、湿度センサー部の表面についたほこりなどは掃除機の棚用吸口で吸い取り、やわらかい布でふいてください。



ダストセンサー(お手入れの目安：約3～6ヶ月に1回)

3～6ヶ月に1回、定期的にお手入れをしてください。
定期的にお手入れしないとダストセンサーが空気の汚れを感知しにくくなります。

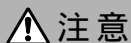
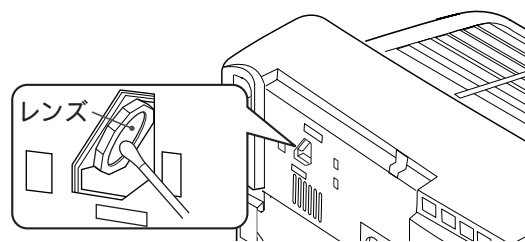
1 ダストセンサーカバーを外す



2 綿棒(市販品)でレンズをふく

汚れが落ちにくいときは、綿棒に少し水を含ませてレンズをふき、その後乾いた綿棒でふいてください。

お手入れが終わったらダストセンサーカバーを取り付けてください。



注意

レンズを無理な力で拭かないでください。破損の原因になります。
ダストセンサーカバーのツメは無理な力で取り外し、取り付けをしないでください。
破損の原因になります。

フィルターの交換について

交換時期

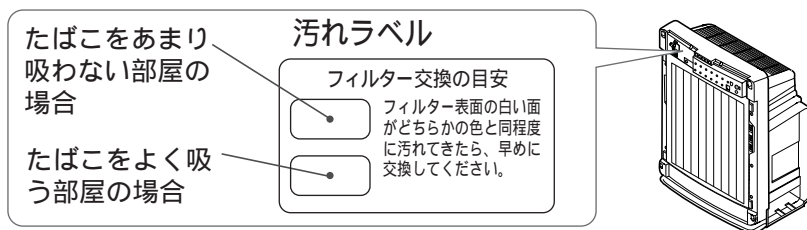
フィルターは消耗品です。

フィルターの交換時期は1日にたばこ5本分の煙を吸った場合、集じんフィルターは約8年、脱臭フィルターは約10年が目安です。

(日本電機工業会規格 JEM1467による)

集じんフィルター交換の目安は、本体の汚れラベルの色合いと同じ程度に汚れてきたら、早めに交換してください。

汚れラベルの色合いは目安です。設置場所によってはラベルの色と汚れの色が異なる場合があります。



脱臭フィルター交換の目安は約10年ですが、においが取れにくくなった場合は交換してください。

設置場所やご使用状況によって、交換時期が早くなる場合があります。汚れやにおいが取れにくくなった場合は、早めにフィルターを交換してください。そのまま使用しますと、フィルターからにおいが発生することがあります。

次のような場合などはフィルターの交換時期が早まります。

油煙・炭化系物質(すす)などを吸った場合や、新築や改築などで新建材臭が残っている場合。

喫茶店、麻雀荘、理・美容院などの店舗や事務所、ホテル・旅館などで使用した場合。

多量のたばこを吸った場合。

燃焼器具などから発生する燃焼ガスを吸った場合。

塗料や接着剤などの溶剤成分を吸った場合。

交通量の多い道路の近くなど、塵埃の多いところで使用した場合。

フィルターの取り扱い上のお願

必ずポリ袋から出して使用してください。

ポリ袋に入れたままフィルターをセットしないでください。故障の原因になります。

乱暴に扱わないでください。

押しつぶしたり、もんだり、丸めたりしないでください。

フィルターが破れるとフィルターの清浄効果がなくなります。

フィルターを洗わないでください。

フィルターは洗っても再使用できません。新しいフィルターをお買い求めのうえ交換してください。

フィルターは内部にプラスチックを使用しています。廃棄する際は、各自治体の指定に従い、廃棄してください。

フィルター交換のしかた

フィルターは別売り部品EPF-DV1000H(集じんフィルター)、およびEPF-DV1000D(脱臭フィルター)をご使用ください。

フィルター交換の際には、必ず運転を停止して、電源プラグをコンセントから抜いてください。

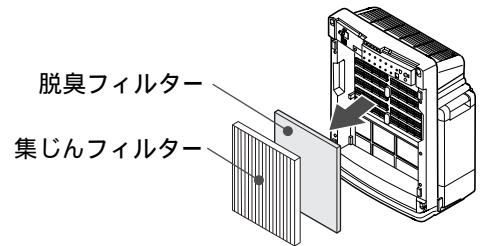
- 1** 水タンクを外してから、水トレイを取り外す → P.9
(水漏れを防止するためです。)

注意 水タンクを取り外すときは、タンクキャップに溜まった水がたれる恐れがありますので、乾いた布を敷いてから水タンクを外してください。

- 2** パネルとプレフィルターを取り外す → P.8

- 3** 古いフィルターを取り外す

集じんフィルター、脱臭フィルターの順に取り外します。

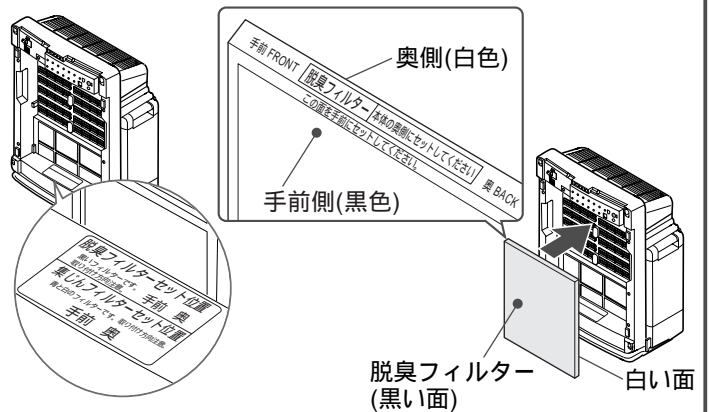


- 4** 新しい脱臭フィルターをポリ袋から取り出し、本体に取り付ける → P.8

脱臭フィルターの黒い面が手前(白い面が奥側)になるようにセットしてください。
ラベル(脱臭フィルターセット位置)がかくれるように、奥までセットしてください。

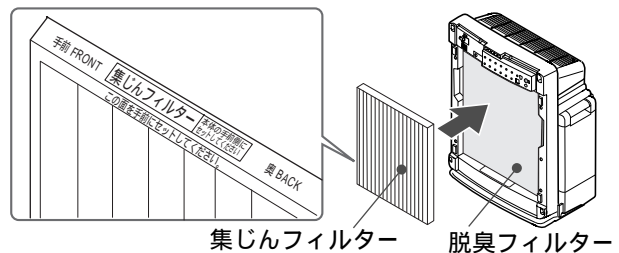
注意

脱臭フィルターは必ずポリ袋から取り出してください。
フィルター前面は、布や紙などでふさがらないでください。
集じんフィルターも同様です。



- 5** 新しい集じんフィルターをポリ袋から取り出し、本体に取り付ける → P.8

- 1** ラベル(集じんフィルターセット位置)がかくれるように、セットしてください。
2 プレフィルター本体にを取り付けます。



- 6** パネルを本体に取り付ける → P.8

- 7** 水トレイを取り付けてから、水タンクを取り付ける → P.9

お知らせ

ポリ袋に入れたままフィルターをセットしても、清浄効果は得られません。
また故障の原因になります。

お知らせ表示について

現象

原因

～ ≐ ≡ のランプが全て点滅する。

ファン回転の故障です。

運転を停止し、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検・修理をご相談ください。 → P.27

故障かなと思ったら

修理を依頼される前に

次の点をもう一度お調べください

現象

確認するところ

直しかた

風が出ない
または、
電源が入らない

電源プラグがコンセントにしっかり差し込まれていますか。

電源プラグをコンセントにしっかり差し込みます。

ブレーカーが切れていませんか。

ブレーカーを入れます。

煙やにおいが取れにくくなった
または、
においがする

プレフィルターの汚れが多くなっていますか。

「お手入れのしかた」の「プレフィルター」をご覧ください。 → P.20

フィルターが汚れていませんか。

「フィルターの交換について」をご覧ください。設置場所や使用状況により、交換時期が早くなる場合があります。 → P.22

リモコンで運転できない

電池の入れ方が間違っていますか。

電池を正しく入れ直してください。 → P.9

電池が消耗していませんか。

電池を交換してください。 → P.9

リモコン受光部が汚れていませんか。

リモコン受光部の汚れを取り除いてください。 → P.21

空気がきれいなのに風量が下がらない

風量を切り換えていませんか。

風量ボタンを押して、センサー自動または他の風量を選んでください。 → P.11～14

加湿運転になっていませんか。

湿度が低い場合は、風量は上がりません。

センサー感度を高くしていませんか。

センサーの感度を切り換えてください。 → P.16

風量を切り換えていませんか。

風量ボタンを押して、センサー自動または他の風量を選んでください。 → P.11～14

空気がよごれているのに風量が上がらない

ニオイセンサー部の穴がほこりや障害物でふさがっていませんか。

お手入れしてください。 → P.21

センサー感度を低くしていませんか。

センサーの感度を切り換えてください。 → P.16

電源プラグをコンセントに差し込むとき、周囲の空気がきれいな状態でしたか。

風量の切り換えを行ってください。または、窓を開けるなどして周囲の空気がきれいな状態のときに電源プラグをコンセントに差し込んでください。 → P.15

クリーンレベルの表示色が緑色点灯のまま変わらない

においやほこりなどが届きにくい場所に設置していませんか。

設置場所を移動してみてください。

ダストセンサー部がほこりで汚れていませんか。

ダストセンサーをお手入れしてください。 → P.21

ニオイセンサー部の穴がほこりや障害物でふさがっていませんか。

お手入れしてください。 → P.21

故障かなと思ったら(続き)

現象	確認するところ	直しかた
クリーンレベルの表示色が緑色点滅のまま変わらない	近くにニオイセンサーが感知するものはありませんか。 燃焼ガスを発生させる燃焼器具 アルコール・化粧品のおい、 スプレー類など	フィルターで浄化されない、目に見えないガス成分を感知して運転を続けることがあります。窓を開けるなどして換気をしてください。 → P.15
	ダストセンサー部がほこりで汚れていませんか。	ダストセンサーをお手入れしてください。 → P.21
	ニオイセンサー部の穴がほこりや障害物でふさがっていませんか。	お手入れしてください。 → P.21
加湿しない	水タンクに水が入っていますか。	水タンクに水を入れてください。 → P.9
	「空清」、「花粉」、「強脱臭」の運転モードになっていませんか。	運転モードを「加湿」、「肌保湿」にしてください。 → P.11
	加湿フィルターが汚れていませんか。	「お手入れのしかた」の「加湿フィルター」をご覧ください。加湿フィルターを清掃または交換してください。 → P.18
「加湿」で運転しても加湿量が少ない	風量は「センサー自動」になっていますか。	設置場所や使用環境により、水が減らない場合があります。 運転モードを「肌保湿」にして、風量を「強」または「ターボ」にしてください。 → P.11
	プレフィルターやフィルターにほこりなどの汚れが付着していませんか。	「お手入れのしかた」の「プレフィルター」をご覧ください。プレフィルターを清掃してください。 → P.20
	加湿フィルターが正しくセットされていますか。または、汚れていませんか。	加湿フィルターを正しくセットしてください。汚れているときは、お手入れまたは交換してください。 → P.17,19
「空清」「花粉」「強脱臭」で運転したとき、加湿している	水タンクと水トレイに水が入っていませんか。	水を抜いて運転してください。
	加湿フィルターが水で濡れていませんか。	加湿フィルターの水を切ってください。
	水タンクが正しくセットされていますか。	水タンクを正しくセットしてください。 → P.9
水が漏れる	タンクキャップを確実に閉めましたか。または、タンクキャップのパッキンは確実にセットしてありますか。	タンクキャップを確実に閉めてください。 → P.9
	水トレイのフタ(トレイフタ)を確実に閉めましたか。	水トレイのフタを確実に閉めてください。
	加湿フィルターを確実にセットしましたか。	加湿フィルターを確実にセットしてください。 → P.17
	本体を傾けたり、水が入ったまま持ち運んだりしていませんか。	本体を水平で安定したところに置く。また、水が入ったまま持ち運ばないでください。
	水タンクや水トレイに穴が開いていませんか。	ただちに使用を中止して、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
	水タンクから水が漏れていませんか。	ただちに使用を中止して、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
	ランプが暗い	ランプを暗くする設定になっていませんか。
お手入れランプが消えない	お手入れの際にリセットボタンを押しましたか。	リセットボタンを押してください。 → P.17

故障かなと思ったら(続き)

こんなときは故障ではありません

現象	理由
電源プラグをコンセントに入れたときにパチッと音がする	通電と同時に電気部品に電流が流れるためです。異常ではありません。
「ターボ」運転のとき本体が振動する	ファンの回転によるものです。異常ではありません。
蒸気や霧が出ない、見えない	加湿フィルターに風を当てて湿った風で加湿する気化式ですので、蒸気や霧は見えません。異常ではありません。
ポコポコと音がする	水タンクの水が水トレイに供給されるときに空気が入る音です。異常ではありません。
湿度モニター表示とお部屋の湿度計の表示が異なる	湿度モニターに表示される湿度は目安です。また、室内の環境差により表示が異なる場合があります。
シャッターが途中で止まっている	シャッターが全部開いていなくても性能上問題なく、異常ではありません。
運転中に「カチッ」と音がする	シャッターの切り換えの音です。異常ではありません。
水タンクの水面がゆれる	運転中の振動によるものです。異常ではありません。
本体表示ランプが順番に点灯、消灯をくり返し、ファンが回転しない	展示用モードになっています。電源プラグをいったん抜き、数秒待ってから再度電源プラグをコンセントに差し込んでください。

アフターサービスと保証

使用中に異常が生じたときは

「故障かなと思ったら」(→ P.24~26)をご確認のあと、それでも故障と思われる場合には、ご自分で修理をなさらないでお買い上げの販売店にご相談ください。

修理を依頼されるため、空気清浄機を販売店にお持ちの際は、標準付属品(フィルター、リモコン、リモコン用単4形乾電池)も一緒に持ちください。

お知らせいただきたい内容

- 1 型式 - EP-DV60
- 2 症状 - できるだけ詳しく

保証について

この商品は保証書付きです。

保証書は販売店で所定事項を記入してお渡しいたしますから、記載内容をご確認いただき、大切に保存してください。

保証期間はご購入の日から1年間です。

なお、保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

保証期間経過後の修理については、販売店にご相談ください。

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

当社は販売店からの注文により、補修用性能部品を販売店に供給します。

一般家庭以外でご使用になるとき

事務所、喫煙室、理・美容院、飲食店、ホテル、旅館など一般家庭に比べて一日の使用時間が長い場所でご使用になると、短時間で部品の交換(ファンモーター、フィルター、センサー類など)が必要になることがあります。

このようなご使用の場合は、保証期間の対象外となります。

この空気清浄機は家庭用です

アフターサービスと保証(続き)

転居される場合

ご転居により、お買い上げの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もって販売店にご相談ください。ご転居先での日立の家電品取扱店を紹介させていただきます。電源周波数の異なる地区へのご転居に際しても、部品の交換は不要です。

部品の保有期間について

この空気清浄機の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後6年です。補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。

愛情点検



長年ご使用の空気清浄機の点検を

ご使用の際、このような症状はありませんか？

スイッチを入れても時々運転しない、あるいは風が出ないことがある。
電源コードに "ひび割れ" や "傷" がある。
運転中に異常な音や振動がする。
本体が変形していたり、異常に熱い。
焦げ臭い "におい" がする。
その他の異常があるとき。

ご使用中止

このような症状のときは、故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いて必ず販売店に点検・修理をご相談ください。

日立家電品についてのご相談や修理はお買い上げの販売店へ

なお、転居されたり、贈物でいただいたものの修理などで、ご不明な点は下記窓口にご相談ください。

修理などアフターサービスに関するご相談は エコーセンターへ

TEL 0120-3121-68

FAX 0120-3121-87

(受付時間)

9:00 ~ 19:00(365日)

商品情報やお取り扱いについてのご相談は お客様相談センターへ

TEL 0120-3121-11

FAX 0120-3121-34

(受付時間) 9:00 ~ 17:30 (月~土)、9:00 ~ 17:00 (日・祝日)
年末年始は休ませていただきます。
携帯電話、PHSからもご利用できます。

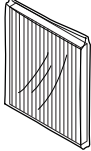


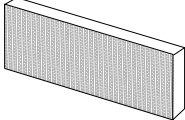

「持込修理」および「部品購入」については、上記サービス窓口にて各地区のサービスセンターをご紹介します。

お客様が弊社にお電話でご連絡いただいた場合には、正確にご回答するために、通話内容を記録(録音など)させていただきます。

ご相談、ご依頼いただいた内容によっては弊社のグループ会社に個人情報を提供し対応させていただくことがあります。修理をご依頼いただいたお客様へ、アフターサービスに関するアンケートはがきを送付させていただくことがあります。

別売り部品

日立の家電品取扱店でお求めください。
価格は、2009年8月現在の消費税率を基に総額表示を行っています。

<p>日立空気清浄機用集じんフィルター EPF-DV1000H 希望小売価格 5,250円 (税抜 5,000円)</p> 	<p>日立空気清浄機用脱臭フィルター EPF-DV1000D 希望小売価格 5,775円 (税抜 5,500円)</p> 
<p>プレフィルター サービスパーツ EP-DV1000-002と ご指定ください。 希望小売価格 840円 (税抜 800円)</p> 	<p>日立空気清浄機用 交換用加湿フィルター EPF-DV60KF 希望小売価格 2,100円 (税抜 2,000円) 加湿フィルターのケースは付属していません。</p> 
<p>タンクキャップ サービスパーツ EP-BV60-017とご指定ください。 希望小売価格 525円 (税抜 500円)</p> 	

上記希望小売価格は、価格改正に伴い変更する場合があります。

仕様

電源	100V 50-60Hz			
風量切替	ターボ	強	中	静
消費電力(W)	47	18	10	5
風量(m ³ /min)	6.5	4.5	3.2	0.7
適用床面積	26畳(43m ²)			
加湿量(mL/h)	約630(ターボ運転時)			
外形寸法	高さ584mm×幅430mm×奥行273mm			
質量	約10kg			
コードの長さ	約1.8m			

抗菌などの効果

部品名	効果	効果の確認を行った試験機関	試験方法	試験結果
ナノテクHEPAフィルタ-	抗菌	(財)日本紡績検査協会	JIS L1902	抗菌活性値5.6
	防カビ	(財)日本紡績検査協会	JIS Z2911	効果あり
	抗ウイルス	(財)日本食品分析センター	抗ウイルス試験	99%
	スギ花粉	信州大学	ELISA法	30%抑制
	コナヒョウヒダニの死がい	信州大学	ELISA法	80%抑制
アレロフィオン	ウイルス	(財)北里環境化学センター	空中浮遊法	93%抑制
	カビ菌	(財)北里環境化学センター	空中浮遊法	92%抑制
	細菌	(財)北里環境化学センター	空中浮遊法	94%抑制
	アレロ物質 スギ花粉	(株)イムノプローブ	ELISA法	31%抑制
加湿フィルター	抗菌	(財)日本紡績検査協会	JIS L1902	抗菌活性値4.0
	防カビ	(財)日本紡績検査協会	JIS Z2911	効果あり

A series of 25 horizontal dashed lines spanning the width of the page, intended for writing or drawing.

日立 **加湿** 空気清浄機 保証書 持込修理

保証期間内に取扱説明書、本体ラベル等の注意書きにしたがって正常な使用状態で使用していて故障した場合には、本書記載内容にもとづきお買い上げの販売店が無料修理いたします。お買い上げの日から下記の期間内に故障した場合は、本書をお持ちいただき、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

型 名	EP-DV60	保証期間	本体：1年
お買い上げ日	平成 年 月 日		
お客様	お名前	様	
	ご住所	〒 電話 ()	
販売店	住 所 氏 名	〒 電話 ()	

印欄に記入のない場合は無効となりますから必ずご確認ください。

1. 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
 (イ) 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
 (ロ) お買い上げ後の取付場所の移動、落下、引っ越し、輸送などによる故障または損傷。
 (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障または損傷。
 (ニ) 車両、船舶にとう載して使用された場合に生じた故障または損傷。
 (ホ) 業務用に使用されて生じた故障または損傷。
 (ヘ) 本書のご提示がない場合。
 (ト) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
 (チ) 消耗品の交換。(フィルターなど)
2. この商品は持込修理の対象商品です。郵送などで修理依頼された場合の送料などはお客様の負担となります。また、出張修理をご希望の場合には、出張に要する実費を申し受けます。
3. ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
4. 贈答品等で本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合には取扱説明書「アフターサービスと保証」に記載の窓口にご相談ください。
5. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保存してください。
6. 本書は日本国内においてのみ有効です。Effective only in Japan.

この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または取扱説明書「アフターサービスと保証」に記載の窓口にお問い合わせください。

お客様にご記入いただいた保証書の写しは、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。
 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは、「アフターサービスと保証」をご覧ください。

修理メモ



〒105-8410 東京都港区西新橋2-15-12
 電話(03)3502-2111